

国際広報メディア専攻

平成25年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1 から問題 3 のうちから一題を選択し、1600 字から 2000 字の日本語(横書き)で解答しなさい。

【問題 1】

平成 23 年度から英語学習が「外国語活動」という名称で必修科目として小学校に導入され、実施されているが、これまで小学校への英語学習の導入については賛成と反対の立場に分かれて議論が行われてきた。この問題について賛否それぞれの立場の論点を明確にして論じなさい。

【問題 2】

「東アジア共同体」という地域統合構想がある。その内容は論者によってさまざまであるが、おおむね、日本、中国、韓国を中心とする東アジア諸国・地域が、経済など多くの分野で制度的共通性を高め、将来的により強力な地域統合関係を築いていくべきだ、とするものである。こうした構想について、あなたの考えるところを述べなさい。

【問題 3】

オリンピックやサッカーの世界カップなど、国際的なスポーツイベントは、規模としての参加選手数などが増大する以上に、年々強い印象を人々に与えているとも考えられる。こうした国際的なスポーツイベントとメディアなどをめぐる問題について、自らの論点・視点を定めて、考えるところを述べよ。